

令和4年11月1日
淡路日の出農業協同組合

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、「組合員とともに農業と地域社会の未来に貢献するJ Aづくり」という経営理念のもと、平成29年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆様の安定的な資産形成・資産運用に貢献するため、以下の取組姿勢を制定しました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため、本方針を必要に応じて見直してまいります。

1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定いたします。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2・3)】

- ① 金融商品の選定にあたっては、お客さまの資産形成・資産運用に貢献するため、長期・積立・分散投資の多様なニーズにお応えできるよう、農林中央金庫が外部評価機関を活用し、定性・定量面から選定した金融商品(J Aバンクセレクトファンド)を採用いたします。また、「J Aバンクセレクトファンドマップ」を活用し、分かりやすく判断しやすい資料を提供いたします。
- ② お客さまの資産形成・資産運用に最適な商品提案をするため、税制優遇制度(NISA、つみたてNISA、iDeCo)を活用し、長期・積立・分散投資による長期的な視点で大切な資産を育てるお手伝いをいたします。
また、お客さまとの対面での提案を大切に、ニーズに合った商品提案に努めます。

2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) お客さまの金融知識・経験・資産の状況およびお取引の目的に照らし、常にお客さまに最適な商品をご提案いたします。

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注

1、2、4、5)】

当組合は、総合事業の強みを発揮し、金融商品に限らずワンストップでの商品提供を行います。またお客さまごとにライフイベントや金融知識・経験・資産の状況やニーズや目的等を一人一人お伺いし、一緒に考え寄り添い、お客さまに最適な商品のご提案をいたします。

(2) お客さまにふさわしいサービスの提供

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- ① お客さまの資産形成・資産運用を効果的にサポートするため、ご自身でタイムリーに時価情報等を把握することができる「JAバンクアプリ」を投資ご契約者にご案内し、投資判断に必要な情報を幅広く提供するとともに、今後も必要な情報は随時ご説明し、資産形成・資産運用やライフプランを含めた生活の不安や悩みに対し真摯に向き合い、寄り添い、自分のこととして考えます。
- ② お客さまに対しては、JAバンク独自の「資産運用ガイダンス」という資料を活用し、資産形成・資産運用の必要性から運用手法までご理解いただけるように丁寧に分かりやすく説明いたします。

(3) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料・その他重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供いたします。

【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- ① お客さまに資産形成・資産運用の必要性をお伝えすること以上に、資産を育てること、投資そのものの魅力や楽しさを伝えていきます。わたしたちは、お客さまのニーズや利益に沿う適切な商品を選定します。また、選定理由について十分な説明を行うことで、より信頼され、永く愛される取引金融機関であり続けることを大切にしています。
- ② お客さまの投資・商品選択の判断に資するよう、「JAバンクセレクトファンドマップ」を活用し、商品のリスク特性について資料を提供するとともに、お客さま目線に立った分かりやすい説明に努めます。
- ③ アフターフォローの訪問基準として、取引残高報告書の送付のタイミングを基準にご契約者さまへお伺いし、財産の状況・投資目的・リスク許容度の変更等がないか丁寧に確認してまいります。
また、アフターフォローの際は、「各種報告書類の見方」や「月刊マーケットレター」等を活用し、分かりやすい説明に努めます。

(4) お客さまにご負担いただく手数料については、お客さまの投資判断に資するよう、

丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

【原則4、原則5本文（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

お客さまからいただく手数料や報酬は商品・サービスのご購入に関するアドバイスやアフターフォロー、運用コストなど、提供するサービスの対価として適正な水準に設定します。

3. 利益相反の適切な管理

- (1) 商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理いたします。【原則3本文および（注）】
- J Aグループでは、サービスの高度化を目指して、グループ会社や運用会社と共創に取り組んでおります。利益相反の発生する可能性がある取引につきましては、利益相反管理方針に基づき適切に管理を行うとともに月次・年次の定期モニタリングにより適切に管理いたします。

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築いたします。

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

お客さまへの最適な金融サービスの提供を行うため、専門性を有した人材の育成を図るとともに、資産形成・資産運用に精通した担当者を幅広く育てるため、各種研修会や勉強会を定期的に開催するなど継続育成に努めます。

また、資産形成・資産運用は働く世代であるわたしたちにも必要なことであるため、自身の資産形成を積極的に進め、金融リテラシーの向上に努めます。

5. お客さま本位の業務運営にかかる成果指標（KPI）

- (1) 当組合における「お客さま本位の業務運営」の取組状況をご確認いただけるように成果指標を定期的に公表し、より良い業務運営につなげてまいります。

【原則2本文および（注）】

「お客さま本位の業務運営に関する取組み状況およびKPI実績値の公表について」として、当組合のホームページにお客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標を公表いたします。

(※) 上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2021年1月改訂）との対応を示しています。

2022年11月1日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当組合は、「組合員とともに農業と地域社会の未来に貢献する」Aづくり」を経営理念として、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成・資産運用に貢献するため、相談・提案型推進を実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

淡路日の出農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2022年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	5 (前年度末：5)
株式型	5 (前年度末：5)	6 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	9 (前年度末：9)	

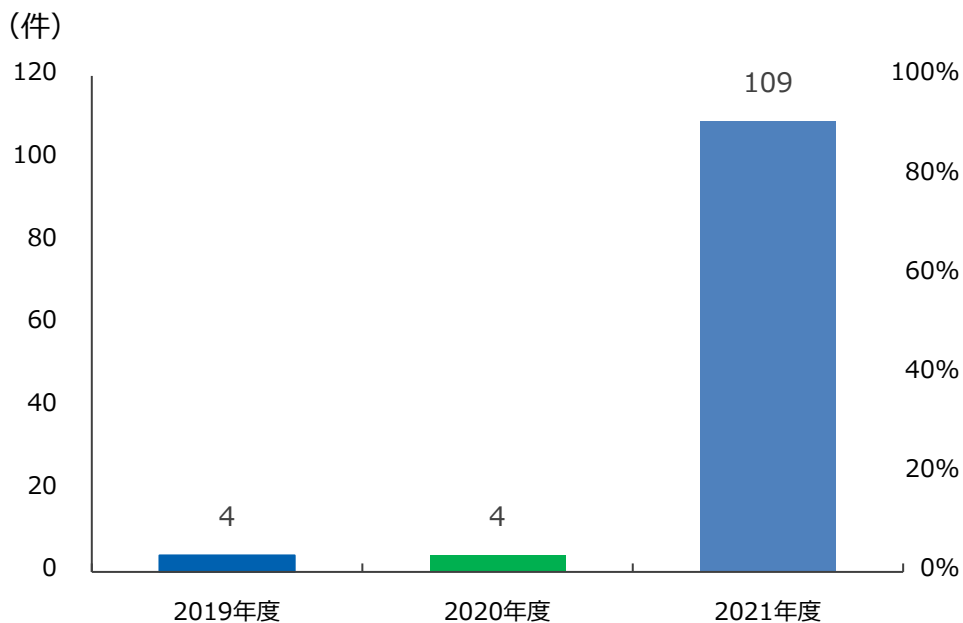
※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

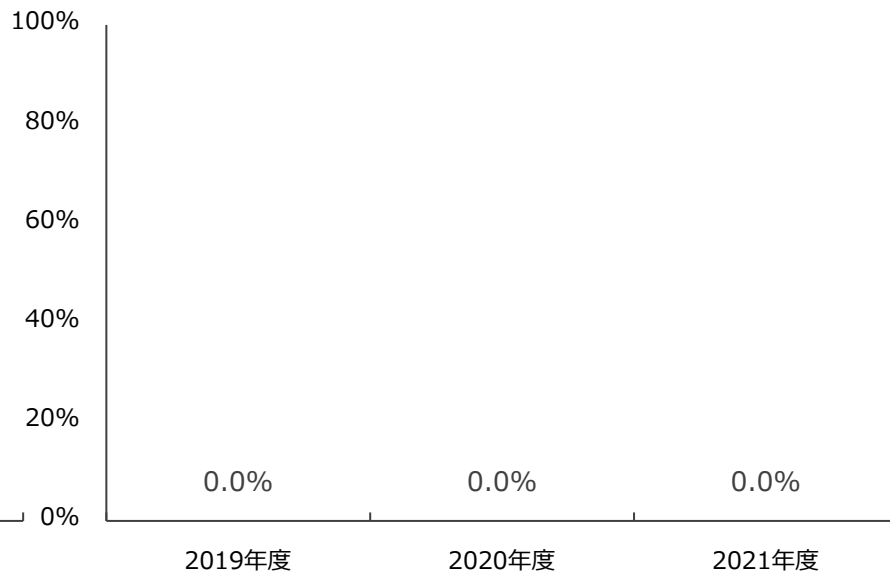
2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、資産運用ガイダンス等を用いて適切な情報提供を行うとともに、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客様が増加しました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I .取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客様の投資判断に資するよう、資産運用ガイダンス等を用いて、「お金を取り巻く環境」「資産形成・運用の必要性」「リスク・リターン」「資産分散」「長期投資」「時間分散」「税制優遇」等について分かりやすくご説明を行い、JAバンクセレクトファンドマップや販売用資料・目論見書等を用いて商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について丁寧にご説明を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- JAバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

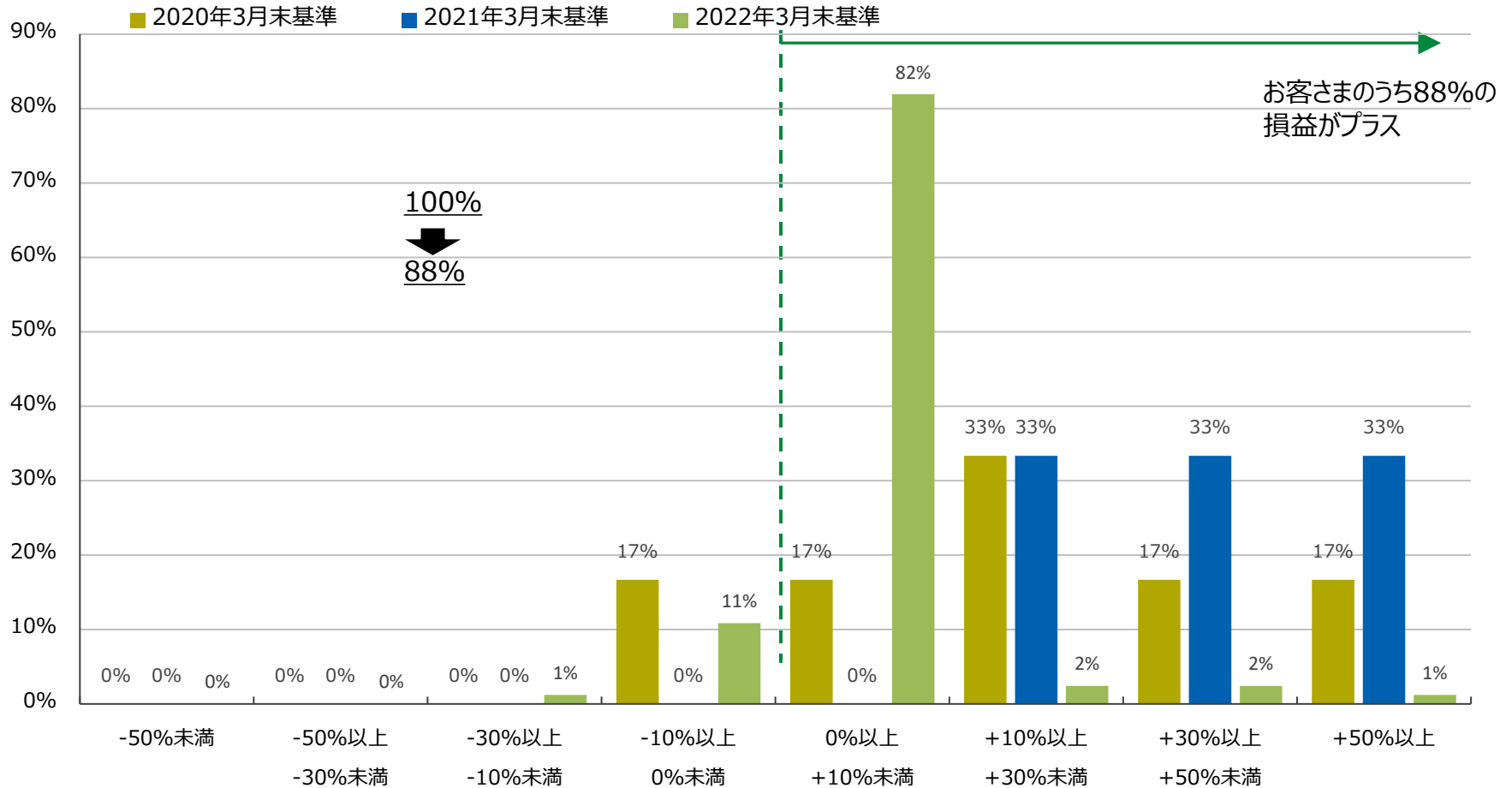
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】 【原則7本文および(注)】

- JAバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、現在各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率

- 「運用損益別顧客比率」は、資産運用ガイダンス等を用いて、お客さまへ「長期・分散投資」や「つみたて投資」をご提案してきたことにより、2022年3月末時点では全体の88%のお客さまの損益がプラスとなりました。

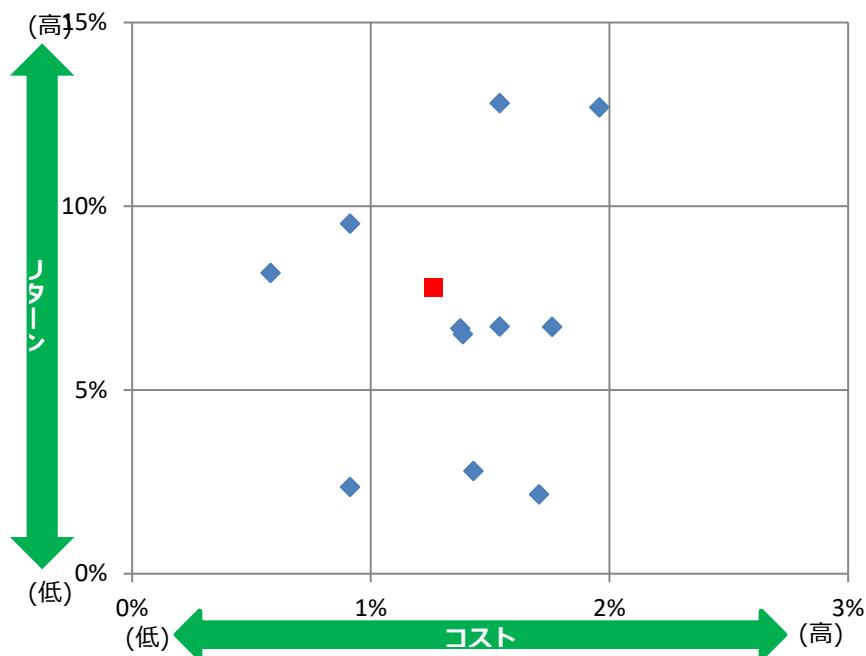


Ⅱ.比較可能な共通K P I

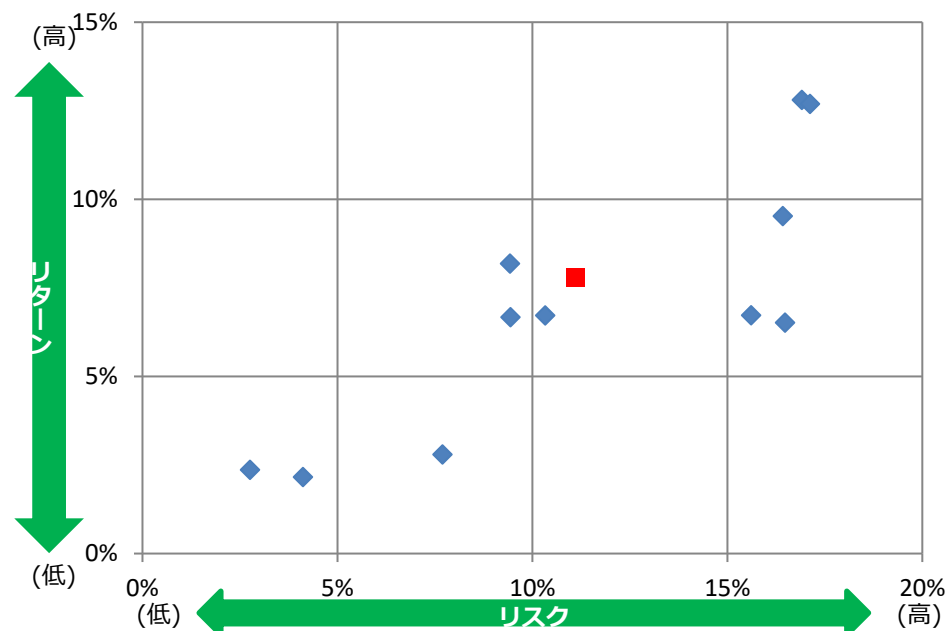
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2022年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。また、お客さまの多様なニーズに合わせた商品を提案しております。
- ・ 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.26%、平均リスク11.12%に対して、平均リターンは7.80%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



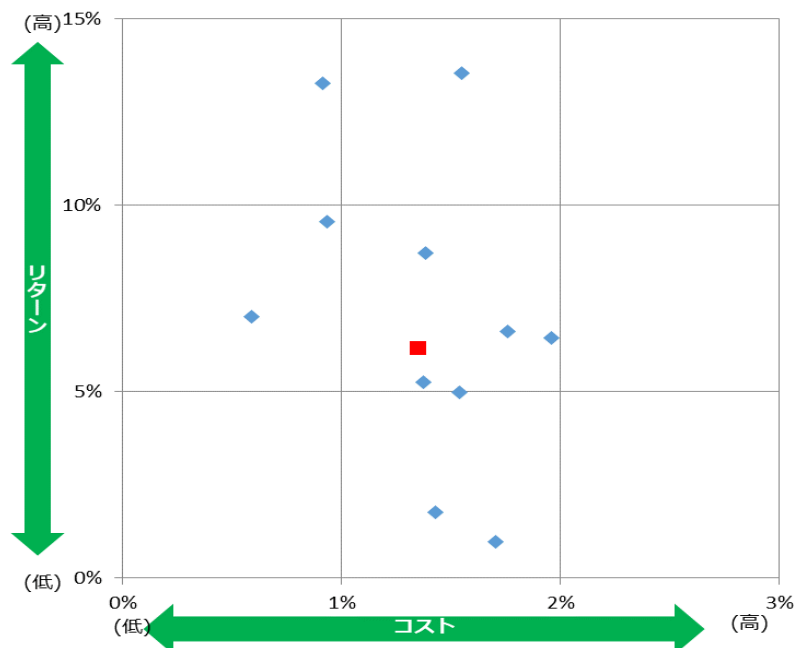
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

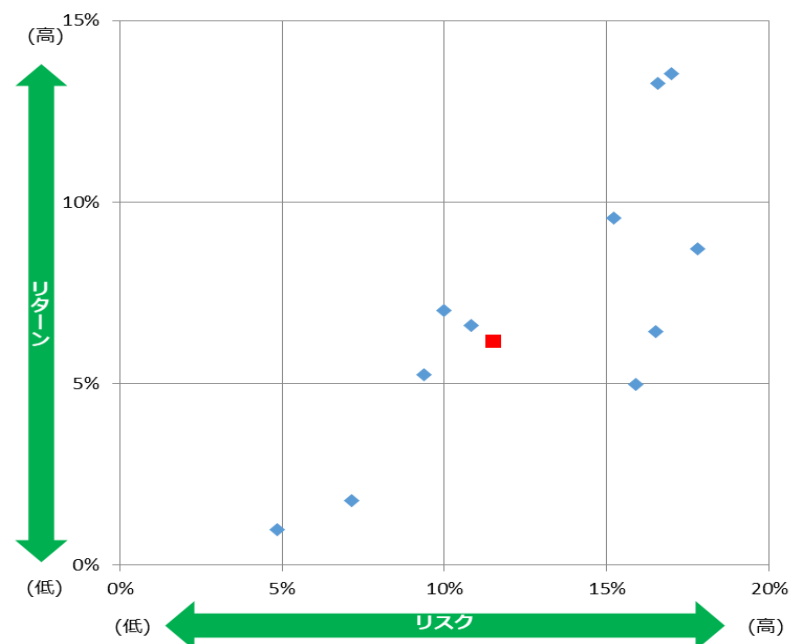
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2021年3月末)

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.35%、平均リスク11.50%に対して、平均リターンは6.15%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



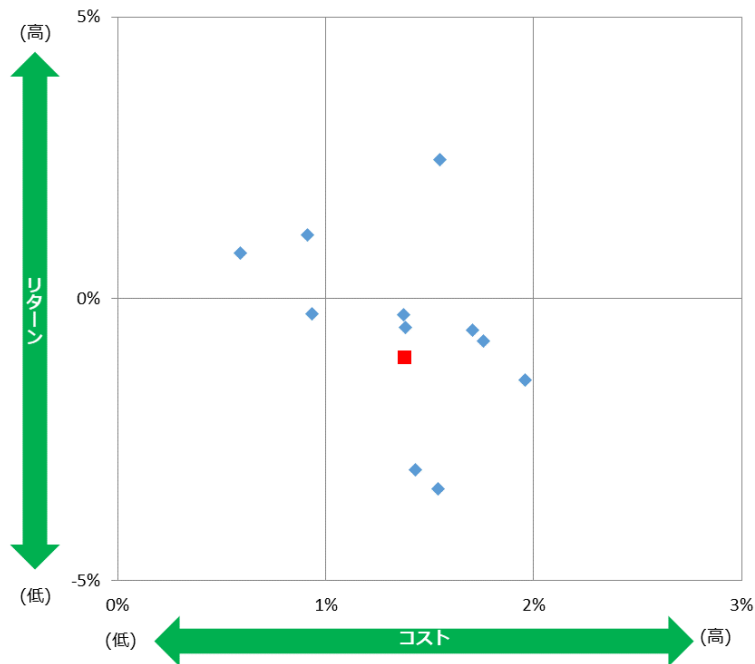
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

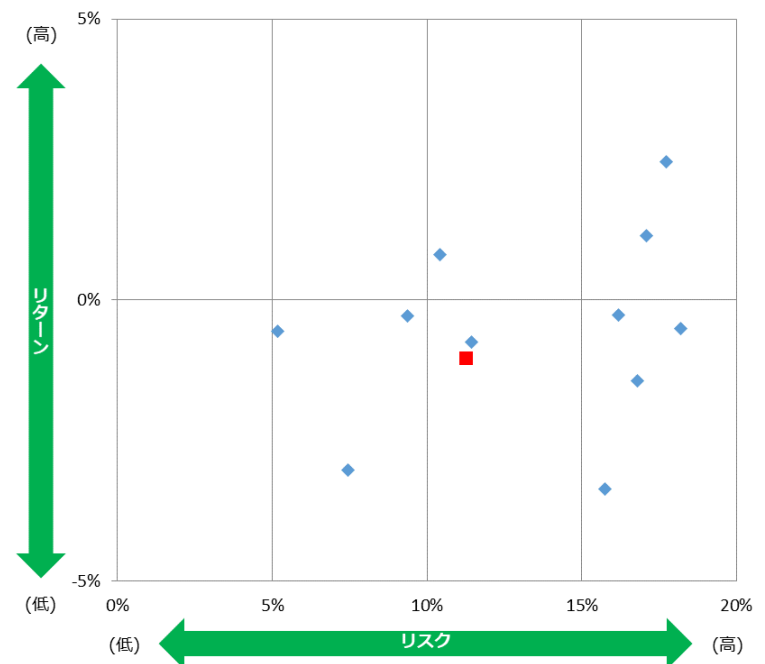
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2020年3月末)

- 2020年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.38%、平均リスク11.27%に対して、平均リターンは-1.04%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
3	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.80%	7.69%	1.43%
4	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	2.16%	4.12%	1.71%
5	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	2.36%	2.76%	0.91%
6	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
7	J A資産設計ファンド(積極型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.72%	10.33%	1.76%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
9	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
10	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.52%	16.48%	1.39%
11	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	6.73%	15.61%	1.54%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.80%	11.12%	1.26%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	9.55%	15.21%	0.94%
2	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	1.76%	7.14%	1.43%
3	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信 (株)	0.97%	4.86%	1.71%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	13.27%	16.56%	0.91%
5	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント (株)	6.43%	16.50%	1.96%
6	J A資産設計ファンド (積極型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	6.60%	10.82%	1.76%
7	世界の財産3分法ファンド (毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	5.24%	9.39%	1.38%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	13.55%	16.99%	1.55%
9	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	7.01%	10.00%	0.59%
10	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	8.71%	17.80%	1.39%
11	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne (株)	4.97%	15.90%	1.54%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.15%	11.50%	1.35%

※ 2021年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2020年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	D I A Mハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	-3.03%	7.44%	1.43%
2	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.27%	16.20%	0.94%
3	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信 (株)	-0.56%	5.19%	1.71%
4	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント (株)	-1.44%	16.79%	1.96%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	1.14%	17.09%	0.91%
6	世界の財産3分法ファンド (毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	-0.28%	9.36%	1.38%
7	J A資産設計ファンド (積極型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.75%	11.42%	1.76%
8	N Z A M日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.52%	18.21%	1.39%
9	D I A M世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne (株)	-3.37%	15.76%	1.54%
10	セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	0.81%	10.41%	0.59%
11	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	2.46%	17.72%	1.55%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		-1.04%	11.27%	1.38%

※ 2020年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。